

授業科目

装具実習III（上肢装具実習）

担当教員名 阿部 薫、笹本 嘉朝	対象学年	3	対象学科	義肢
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	60

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○			○	◎

授業の概要

装具学III（上肢装具）で習得した知識を基に製作された装具を対象者へ正しく適合するのに必要な技術を習得する。

授業の目的

上肢装具の構造と、義肢装具士に必要な上肢装具の組み立てについて学ぶ。

学習目標

1. 上肢装具の採寸・採型など、装具適合部位の形状獲得作業が的確に行える。
2. 対象となる疾患に応じた上肢装具の設計、デザインを的確に行える。
3. 様々な既製品の上肢装具および自助具を、的確に装着することができる
4. チェックアウトプロトコルに従って、装具の適合判定を的確に行える。
5. 上肢装具不適合に対処できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1-3	手関節装具 採寸・採型	教員デモと学生による実習	阿部 薫 他
4-6	手関節装具 陽性モデル作成および修正	教員デモと学生による実習	阿部 薫 他
7-11	手関節装具 製作	教員デモと学生による実習	阿部 薫 他
12-13	手関節装具 適合チェックアウトと問題解決	教員デモと学生による実習	阿部 薫 他
14-16	上腕骨折用装具 採寸・採型	教員デモと学生による実習	笹本 嘉朝 他
17-19	上腕骨折用装具 陽性モデル作成および修正	教員デモと学生による実習	笹本 嘉朝 他
20-26	上腕骨折用装具 上腕骨折用装具製作	教員デモと学生による実習	笹本 嘉朝 他
27-28	上腕骨折用装具 適合チェックアウトと問題解決	教員デモと学生による実習	笹本 嘉朝 他
29-30	既製品上肢装具適合実習 採寸・適合チェックアウトと問題点	教員デモと学生による実習	阿部 薫 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	装具学 第4版	日本義肢装具学会監修	医歯薬出版	2013年	6,200円	
参考書						
その他の資料						

評価方法

製作物、レポート

履修上の留意点

学生がモデル被験者となる。講義科目とあわせて進めるため、本科目と装具学?(上肢装具)の相互理解が重要である。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：月曜3限、水曜4限、連絡先：メール kao-abe@nuhw.ac.jp、電話025-257-4525(研究室)